

## ステップ 5 / 従属節-主節+従属節として話をつなぐ

### 名詞節

#### 1 that 用法

NOTE 同格 that 節

#### 2 whether, if 用法

2-1 whether 用法

2-2 if 用法

#### 3 疑問詞用法

#### 4 関係代名詞 what 用法

NOTE 時制の一致

NOTE 話法の転換

## 1 that 用法

名詞節の that 用法は「～ということ」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

なお、「日本語式」の順番を←1 ←2 ←3 で表していますが、名詞節の「日本語式」は全て同じ順番ですので、that 用法以外は←だけで示しています。

ということは ある イタリアンレストランが 近くに この←1  
です 大変ありがたい この地域にとって←2

**That there is an Italian restaurant near here is very thankful for this area.**

📖 従属接続詞 that「～ということ」に「は」が付いて、名詞節が主語になる

当然 私達は←1 ～知っています←3

ということ を 私達の文化が いる 違って あなたの国と←2

**Naturally we know that our culture is different from your country.**

📖 従属接続詞 that「～ということ」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

NOTE: 目的語になる従属接続詞 that は、know, wish, hope, think, believe など慣用的な動詞においてしばしば省略されます。

私は←1 ～心配しています←3

ということ を (それは) になるだろう 雨模様 朝から 明日の←2

**I am afraid that it will be rainy from the morning of tomorrow.**

📖 be 動詞+afraid (certain, sorry, sure など)は、that 節を目的語にとる

先生は←1 ～教えました 私達に←3 ということ を 英語が である 世界的な国際語←2

**The teacher taught us that English was a global international language.**

📖 名詞節が、S+V+O+O の直接目的語になる

現実的な問題は←1 です←3

ということ 私が ～持っていない お金を 賃貸するための 部屋を←2

**The realistic problem is that I have no money to rent a room.**

📖 名詞節が、be 動詞「～です」などにかかり補語になる

## NOTE 同格 that 節

名詞節の同格 that 節は「～という…」の意味で、that 節がすぐ前の名詞を説明して同格となります。

同格の that 節をとる名詞は、belief(信念), decision(決定), fact(事実), idea(考え・意見), message(伝言・伝達事項), news(ニュース・知らせ), question(質問・疑問), rumor(うわさ・風評), thought(考え)など多数あります。

噂が という マリの家族が 住んでいる ロンドンに 話されています 教室で←

**A rumor that Mari's family is living in London is talked in the class.**

📖 名詞 rumor を that 以下の名詞節が説明して同格になる

コロンブスは ~貫いた 信念を という 世界が である 丸い(形)←

**Columbus went through the belief that the world is round.**

📖 名詞 belief を that 以下の名詞節が説明して同格になる

私は ~知っています その事実を という 私の兄が 昇進した 営業部長に←

**I know the fact that my older brother was promoted to a sales manager.**

📖 名詞 fact を that 以下の名詞節が説明して同格になる

しましたか あなたは ~思いつく 良いアイデアを という 人々が 驚くだろう←

**Did you think of the good idea that people will be surprised?**

📖 名詞 idea を that 以下の名詞節が説明して同格になる

私は ~同意しません その考えに という あなたが 発表する 大衆に 明日←

**I don't agree to the thoughts that you present to the public tomorrow.**

📖 名詞 thoughts を that 以下の名詞節が説明して同格になる

しましたか あなたは ~聞く ニュースを という ジョンが ~合格した 試験に←

**Did you hear the news that John passed the exam?**

📖 名詞 news を that 以下の名詞節が説明して同格になる

## 2 whether, if 用法

名詞節の whether,if 用法は「**～かどうか**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

### 2-1 whether 用法

**かどうか**は 悠太が 来る**か来ない** ではない 明らか 今現在 ←

**Whether Yuta will come or not is not clear as of now.**

📖 従属接続詞 whether「～かどうか」に「は」が付いて、名詞節が主語となる

私は ～尋ねた エリに **かどうか**を 彼女が ～ほしい 何かを 温かい ←

**I asked Eri whether she wanted something hot.**

📖 従属接続詞 whether「～かどうか」に「を」が付いて、名詞節が目的語となる

その不明な点は です **かどうか** ケンが ～受け入れるつもり 私たちの申し出を ←

**The unclear point is whether Ken will accept our offer.**

📖 名詞節が、be 動詞「～です」などにかかり補語になる

### 2-2 if 用法

名詞節の if 用法は「**(やや略式に)～かどうか**」の意味で、whether よりも口語的で、目的語になる場合のみ使われ、主語または補語になる時は whether を使います。

ジョンは ～疑った **かどうか**を マリが 戻って来る 夕食時までに ←

**John doubted if Mari would come back by dinner time.**

📖 従属接続詞 if 「～かどうか」に「を」が付いて、名詞節が目的語となる

NOTE: その他、ask, know, tell, wonder, など

### 3 疑問詞用法

名詞節の疑問詞用法は、疑問詞「**誰か** who、**どれか** which、**何か** what、**いつか** when、**どこか** where、**なぜか** why、**どうか** how」という意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

疑問詞が文中で名詞節をつくることを間接疑問と言い、語順は平叙文と同じで「疑問詞+主語+動詞」の語順になります。

**(のは)いつかが** ケンが 出発する 東京へ 告げられていない 家族に まだ←

**When Ken leaves for Tokyo has not been told to his family yet.**

📖 従属接続詞 when「～いつか」に「が」が付いて、名詞節が主語になる

私達は ～知りたい **(のは)誰かを** 社長が 選んだ 指導者として 我々の中から←

**We want to know who the president chose as a leader among us.**

📖 従属接続詞 who「～誰か」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

問題は です **(のは)なぜか** 私達が ～終えなければならない この仕事を 明日までに←

**The problem is why we must finish this job by tomorrow.**

📖 名詞節が、be 動詞「～です」などにかかり補語になる

しますか あなたは ～覚えている **(のは)どこかを** あなたが ～会った マリに←

**Do you remember where you met Mari?**

📖 疑問文、名詞節が目的語になる

～尋ねなさい 悠太に **(のは)何かを** 彼が した 9時頃に 昨夜←

**Ask Yuta what he has done about nine o'clock last night.**

📖 命令文、名詞節が目的語になる

## 4 関係代名詞 what 用法

名詞節の関係代名詞 what 用法は、what それ自体に先行詞を含んで「**～ところのこと・もの・ひと**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

ところのことは 私の叔母が 言った 福岡市について

でした 話 興味を起こさせる 大変←

**What my aunt said about Fukuoka city was the story interesting very much.**

📖 従属接続詞 what「～ところのこと」に「は」が付いて、名詞節が主語になる

悠太は ～するつもりです ところのことを 彼が することができる あなたののために←

**Yuta will do what he can do for you.**

📖 従属接続詞 what「～ところのこと」に「を」が付いて、名詞節が目的語になる

限り 私が 知る、←1 ケンは ではない ところのひと 彼が 以前そうであった←2

**As far as I know, Ken is not what he used to be.**

📖 名詞節が、be 動詞「～ではない」などにかかり補語になる

私は ～信じている ところのことを 私の叔父が 言った 結果について 試験の←

**I believe what my uncle said about the result of the examination.**

📖 名詞節が目的語になる

NOTE: 関係代名詞 what 用法は、主語 my uncle にアクセントを置きます。

NOTE: 疑問詞用法 what との見分け方については次になります。

私は ～知らない (のは)何かを 彼が 言った←

**I don't know what he said.**

疑問詞用法 what に使われる動詞は、know, ask, tell などです。

疑問詞用法 what は、疑問詞 what にアクセントを置きます。

## NOTE 時制の一致

複文の「主節+従属節」において、主節を過去形・過去進行形・過去完了形にして話をしようとする場合は、従属節もその影響を受けて過去形・過去進行形・過去完了形・過去完了進行形・助動詞過去形 would, could, should, might になりますが、このことを時制の一致と言います。

なお、主節を現在形・現在進行形・現在完了形・未来形にして話をしようとする場合は、従属節はどんな時制をとってもかまいません。

私の祖父は ～知った ということを ケンが 働いている 一生懸命に←

**My grandfather knew that Ken was working hard.**

📖 My grandfather **knows** that Ken **is working** hard.

私の母は ～気が付いた ということに 悠太が 行っている スポーツジムに 今←

**My mother noticed that Yuta had gone to the sports gym now.**

📖 My mother **notices** that Yuta **has gone** to the sports gym now.

私は ～思った ということを その男の人が に違いない カナダ人←

**I thought that the man must be a Canadian.**

📖 過去形のない助動詞 must, should, ought to などそのまま用いられる

なお、時制の一致の例外として次のものがあります。

私達は ～習った ということを 水は 沸騰する 摂氏 100 度で←

**We learned that water boils at 100 °C.**

📖 一般的心理・格言を表す現在時制

私の父は ～言った ということを 第二次世界大戦が 終わった 1945 年に←

**My father said that the Second World War ended in 1945.**

📖 歴史上の事実を表す過去時制

私の祖母は ～言った 私に ということを 悠太が 散歩する 毎朝←

**My grandmother told me that Yuta goes for a walk every morning.**

📖 現在的事実・習慣を表す現在時制

## NOTE 話法の転換

人の言った言葉の直接話法を、話し手の言葉の間接話法に置き換えて、相手に伝えることを話法の転換と言い、次のように変化します。

- ① say(said)to～から tell(told)～へ、また tell(told)～から say(said)to～へ変わる
- ② 人称代名詞の変化は、話し手の立場から見たものに変える
- ③ 伝達される文中の指示代名詞や時・場所を表す副詞(句)も次のように変化する  
this-that, these-those, here-there, now-then, today-that day,  
tomorrow-the following day, yesterday-the day before, ago-before

### ◆ 平叙文の場合は「that 節」になり、時制を一致させます

直接話法／Lisa said to me, "I want you to join the game."

リサは ～言った 私に ということを 彼女が 欲しい 私に 参加して 試合に←  
Lisa **told me that she wanted me to join the game.**

直接話法／Ken said to us, "You can't play baseball here today."

ケン は ～言った 私達に ということを 私達が 野球ができない そこで その日は←  
Ken **told us that we couldn't play baseball there that day.**

### ◆ 一般疑問文の場合は「whether, if 用法」になり、時制を一致させます

直接話法／Yuta said to him, "Have you read the book?"

悠太は ～尋ねた 彼に かどうかを 彼が ～読んだことがある その本を←  
Yuta **asked him if he had read the book.**

### ◆ 疑問詞疑問文の場合は「疑問詞用法」で、時制を一致させます

直接話法／Mari said to me, "where do you live?"

マリは ～尋ねた 私に (のは)どこかを 私が 住んでいる←  
Mari **asked me where I lived.**

### ◆ 命令文の場合は「S+V+O+to 不定詞」になります

直接話法／Eri said to me, "Wash your hands as soon as possible."

エリは ～言った 私に 洗うよう 私の手を 出来る限り早く←  
Eri **told me to wash my hands as soon as possible.**



## 形容詞節

### 1 関係代名詞

#### 1-1 基本的用法

NOTE that の特別用法

NOTE 同格 that 節と関係代名詞 that 節の違い

#### 1-2 関係代名詞の所有格・目的格の用法

#### 1-3 関係代名詞の省略

#### 1-4 前置詞+関係代名詞の用法

#### 1-5 前出の句・節をさす関係代名詞の用法

### 2 関係副詞

#### 2-1 基本的用法

#### 2-2 関係副詞の先行詞の省略

NOTE 複合関係詞

## 1 関係代名詞

関係詞には、関係代名詞 who, which, that, (what)、関係副詞 when, where, why, how があります。

関係詞は、Japa-Lish において「日本語式」と「英語式」に違いがありますので、次の例文にて説明しましょう。

私は都会に住んでいる友達を持っています

日本語では、「都会に住んでいる友達を」と直接に修飾しているのが特徴ですが、これでは関係代名詞にあたる日本語がありません。

したがって、Japa-Lish において「日本語式」は次になります。

私は 持っています 友達を ところの 住んでいる 都会に ←

**I have friends who live in the town.**

関係代名詞「ところの／who, which, that」以下の節が、従属節の形容詞節になり、先行詞の主語または目的語を修飾します。

**I have friends who live in the town.**

英語では、主節の「私は 持っています 友達を」を、従属節にて「その友達は 住んでいる 都会に」と、どんな友達かを説明するために関係代名詞を使い、文を一つにまとめます。

したがって、Japa-Lish において「英語式」は次になります。

私は 持っています 友達を その友達は 住んでいる 都会に

**I have friends who live in the town.**

英語式は、先行詞の主語または目的語を、関係代名詞 who, which, that を使い追加説明をします。

以上から、関係詞の基本的用法だけは「日本語式」と「英語式」の両方で説明していますが、それ以外の例文は「英語式」の方が理解しやすいため「英語式」だけで説明をしています。

## 1-1 基本的用法

女の人は **ところの** ~餌をやっている 犬に 庭で←1 です 私の叔母←2

**The woman who is feeding dogs in the garden is my aunt.**

女の人は **その人は** ~餌をやっています 犬に 庭で です 私の叔母

📖 先行詞が「人」の場合は、who を使う

私は ~探していました 失くした財布を **ところの** 届けられていた 交番に←

**I was looking for the lost wallet which was sent to the police box.**

私は ~探していました 失くした財布を **その物は** 届けられていました 交番に

📖 先行詞が「物」の場合は、which を使う

私は ~知っています 有名な女性を **ところの** ~演奏している バイオリンを←

**I know the famous lady that is playing the violin.**

私は ~知っています 有名な女性を **その人は** ~演奏しています バイオリンを

📖 先行詞が「人・動物・事物」のいずれの場合でも、that が使える

### NOTE that の特別用法

The + 最上級(最も~な)、the first(最初の)、the last(最後の)、the very(まさにその)、the only(唯一の)、all, every, any, no などによって強く限定された先行詞の場合は、関係代名詞に that が用いられます。

**全てのテーブルは ところの ある 我家に←1 作られました イタリアで←2**

**All the tables that are in our house are made in Italy.**

**全てのテーブルは それらが ある 我家に 作られました イタリアで**

### NOTE 同格 that 節と関係代名詞 that 節の違い

私達は 驚きました そのニュースに **という** 隣人が 亡くなった 昨夜←

**We were surprised at the news that a neighbor was dead last night.**

📖 同格 that 節は、that 節がすぐ前の名詞 news を説明して同格になる

私達は 驚きました そのニュースに **ところの** 告げられ 私たちに 今朝←

**We were surprised at the news that was told us this morning.**

📖 関係代名詞 that 節は、that 節が形容詞節として先行詞 news を修飾する

## 1-2 関係代名詞の所有格・目的格の用法

「英語式」は、主節の先行詞を、従属節にて「所有格 whose＋名詞」にして、または「目的格 whom, which, that」を使い、追加説明をします。

マリは ～持っています 親友を その人の性は です 同じ 彼女と

**Mari has a close friend whose family name is the same as her.**

📖 その人の性は／所有格 whose＋名詞

悠太は です 賢い人 その人を 誰もが ～信頼しています このクラスで

**Yuta is the smart person whom everyone trusts in this class.**

📖 その人を／目的格 whom＋主語＋他動詞

パリは です 憧れの街 その街に 誰もが ～訪れたいと思っています 一度

**Paris is a longed-for town which(that) anyone wants to visit once.**

📖 その街に／目的格 which (that)＋主語＋他動詞

## 1-3 関係代名詞の省略

目的格の関係代名詞 whom, which, that は、先行詞と重複するためしばしば省略されます。「英語式」は次になります。

学生達は (その学生達に) 私の父が ～教えた

勉強しました 一生懸命に 彼らの将来のために

**The students (whom) my father taught studied hard for their future.**

📖 目的格の関係代名詞(その学生たちに／whom) が省略される

家は (その家を) 私達が ～建てた 備えています 最新の太陽光発電装置を

**The house (which/that) we built**

has the latest solar power generation device.

📖 目的格の関係代名詞(その家を which/that) が省略される

#### 1-4 前置詞+関係代名詞の用法

「英語式」は、主節の先行詞を、従属節にて「前置詞+関係代名詞 which, whom」にして、追加説明をします。

これらが です 書類 その書類について ケンは ~説明してきました 悠太に 詳細に  
These are the documents about which Ken have explained Yuta in detail.  
📖 その書類について／前置詞 about+関係代名詞 which

ここは です 美しい地元の街 その街で 悠太は 生まれました 1999 年に  
Here is the beautiful local town in which Yuta was born in 1999.  
📖 その街で／前置詞 in+関係代名詞 which

彼は です 有名なTVタレント その人に リサは 送りました ファンレターを 何度も  
He is the famous TV talent to whom Lisa sent fan letters many times.  
📖 その人に／前置詞 to+関係代名詞 whom

#### 1-5 前出の句・節をさす関係代名詞の用法

「英語式」は、主節の句または主節全体を、従属節にて関係代名詞 which を使い、追加説明をします。なお、関係代名詞 which の前にコンマを必要とします。

マリは ~試みました ~解くことを その難しい問題を、  
そのことを 彼女は 達成することができました どうにか  
Mari tried to solve the difficult problem,  
which she was able to accomplish somehow.  
📖 主節の句を、関係代名詞 which を使い従属節の目的語にする

ケン は 成功しました 開発に 新システムの、  
そのことは びっくりさせました 多くの人達を 親戚の  
Ken succeeded in the development of the new system,  
which surprised many people of the relative.  
📖 主節全体を、関係代名詞 which を使い従属節の主語にする

## 2 関係副詞

### 2-1 基本的用法

「日本語式」は、関係副詞「**ところの**／when, where, why, how」以下の節が、従属節の形容詞節になり、先行詞を修飾して一つの話にまとめます。

「英語式」は、先行詞に対して、関係副詞の「when／時, where／場所, why／理由, how／方法」を使い追加説明をします。

日曜日は **です その日 ところの** ジョンが 仕事が無い **する 会社のために** ←

Sunday is **the day when** John has no work to do for his company.

日曜日は **です その日 その日に** ジョンは 仕事がありません **する 会社のために**

📖 先行詞が「the day その日／時」の場合は、when を使う

～教えてください **私に 正確な時間を ところの** 次の便が 到着する **羽田空港に** ←

Tell me **the exact time when** the next flight will arrive at Haneda airport.

～教えてください **私に 正確な時間を その時に** 次の便が 到着する **羽田空港に**

📖 先行詞が「time 時間／時」の場合は、when を使う

これが **です 古い家 ところの** ケンの家族が 住んでいる **昔から** ←

This is **the old house where** Ken's family lives from old days.

これが **です 古い家 その場所に** ケンの家族が 住んでいます **昔から**

📖 先行詞が「house 家／場所」の場合は、where を使う

それが **です 理由 ところの** あなたが 見える **あまりにも幸せに 最近** ←

That is **the reason why** you look so happy recently.

それが **です 理由 その理由で** あなたが 見え **あまりにも幸せに 最近**

📖 先行詞が「reason 理由」の場合は、why を使う

NOTE: 関係副詞 why は「This(That) is why～」の形で使われることが多い。

これが **です 方法 ところの** 私の姉が **～終えた その仕事を 1日で** ←

This is **the way how** my older sister finished the work in one day.

これが **です 方法 その方法で** 私の姉は **～終えました その仕事を 1日で**

📖 先行詞が「way 方法」の場合は、how を使う

NOTE: 関係副詞 how は「This(That) is how～」の形で使われることが多い。

## 2-2 関係副詞の先行詞の省略

関係副詞の先行詞である「the time／時, the place／場所, the reason／理由, the way／方法」は、関係副詞の「when／時, where／場所, why／理由, how／方法」と重複するためしばしば省略されます。「英語式」は次になります。

初夏は です (時) **その時** 雨季が ～始まります 日本では

**Early summer is (the time) when the rainy season begins in Japan.**

📖 先行詞(時／the time)は省略される

この街が です (場所) **その場所** 私達は ～望んでいました 住むことを 長い間

**This town is (the place) where we have wanted to live for a long time.**

📖 先行詞(場所／the place)は省略される

これが です (理由) **その理由** 乗客が ～満足していました その遅れに

**This is (the reason) why passengers have been satisfied with the delay.**

📖 先行詞(理由／the reason)は省略される

これが です (方法) **その方法** 技術者達が ～達しました 結論に

**This is (the way) how engineers reached the conclusion.**

📖 先行詞(方法／the way)は省略される

## NOTE 複合関係詞

関係代名詞・関係副詞に-ever が付いているものを複合関係詞と言います。

### ◆ 複合関係代名詞

whoever「～する人はだれでも」・whichever「～するものはどれでも・どちらでも」・whatever「～するものは何でも」という意味の名詞節になります。

ものはなんでも 残される 机の上に です 私のもの←

**Whatever is left over on the desk is mine.**

私は あげるつもりです その本を 人はだれでも ほしい それを←

**I will give the book whoever wants it.**

自由にお取りください ものはどれでも あなたが 食べたい ビュッフェで←

**Please help yourself whichever you want to eat in the buffet.**

### ◆ 複合関係副詞

whenever「～する時ならいつでも／～する時はいつも」・wherever「～するところならどこでも」という意味の副詞節になります。

時はいつでも ジョンが 来る 彼は 持ってきます 私に プレゼントを←

**Whenever John comes, he brings me a present.**

ところならどこでも 私が 行く 私の息子は ついてきます 私に←

**Wherever I go, my son follows me.**

### ◆ 譲歩を表す複合関係詞

whoever「誰が～しようとも」・whichever「どれ・どちらを～しようとも」・whatever「何が何を～しようとも」・whenever「いつ～しようとも」・wherever「どこで～しようとも」、however は形容詞・副詞の前に置き「どんなに～でも」という意味になります。  
また、これらは「No matter + 関係詞～」に置き換えることができます。

どんなに速く ケンが 走っても 彼は 追いつくことが出来なかった 悠太に←

**However fast Ken runs, he couldn't catch up with Yuta.**

📖 譲歩を表す複合関係詞は、No matter how fast～,... に置き換えられる



## 副詞節

### 1 従属接続詞

- 1-1 時を表す
- 1-2 原因・理由を表す
- 1-3 条件を表す
- 1-4 譲歩を表す
- 1-5 結果・程度を表す
- 1-6 目的を表す
- 1-7 様態を表す

### 2 分詞構文

- 2-1 基本的用法
  - 2-2 注意すべき分詞構文
- NOTE 独立分詞構文の慣用表現

### 3 仮定法

- 3-1 直説法と仮定法の違い
  - 3-2 仮定法過去と仮定法過去完了
    - a 仮定法過去
    - b 仮定法過去完了
  - 3-3 慣用的な仮定表現
- NOTE 数詞

## 1 従属接続詞

従属接続詞は、時、原因・理由、条件、譲歩、結果・程度、目的、様態を表すものに分けられます。

主節+従属節において、英語は主節が先に話されますが、従属節が先に話されることもあります。

Yuta fell asleep **while** he was watching a baseball game on TV.

ただし従属節が先の場合は、書き表すときは主節の前にコンマを必要とします。

**While** Yuta was watching a baseball game on TV, he fell asleep.

主節+従属節において、日本語は必ず従属節が先に話されます。

悠太は 眠り込んだ←2 間に 彼が ~見ていた 野球の試合を テレビで←1

Yuta fell asleep **while** he was watching a baseball game on TV.

従属節+主節の日本語式のポイントは、次の例文のように、従属節と主節を分けて作り、都度英語にして話をする事が出来ます。

ただし、従属節と主節の主語が同じ場合は、従属節の主語を「悠太が」にして、主節の主語を「彼は」にしますが、「悠太は」と同じにしてもかまいません。

間に 悠太が ~見ていた 野球の試合を テレビで←1

**While** Yuta was watching a baseball game on TV,

彼は(悠太は) 眠り込んだ←2

he(Yuta) fell asleep.

## 1-1 時を表す

時に 私が 到着する 東京駅に←1、私は 電話をするつもりです 悠太に←2

**When I get to Tokyo station, I will call Yuta up.**

📖 ～する時に／when+S+V～

時に 私が ～電話した 悠太に←1、彼は すでに ～出発していた 実家を←2

**When I called Yuta up, he had already left the parents' house.**

📖 ～した時に／when+S+V～

私達は ～到着した 家に←1、その時に (それは) 強い雨が 始めた 降る←2

**We got to our house, when strong rain has begun to fall.**

📖 ～、その時に／～, when+S+V～

時に 私が 見た ジョンを←1、彼が 来た 走りながら 近くに←2

**As I looked at John, he came running near.**

📖 ～すると、～した時に(お互いが同時)／as+S+V～

につれて 太陽が 沈む←1、私達は ～見ることができなかった 何も 周りに←2

**As the sun set, we couldn't see anything around.**

📖 ～するにつれて／as+S+V～

後に リサが ～出た 大学を←1、彼女は ～始めた 仕事を 英語翻訳の←2

**After Lisa left college, she started the business of English translation.**

📖 ～後に／after+S+V～

まえに (それは) 暗くなる←1、～言いましょう さよならを 家族の皆さんに←2

**Before it gets dark, let's say goodbye to families.**

📖 ～の前に、～ならないうちに／before+S+V～

まで マリが ～帰る 家に←1、エリは 待った 彼女を 言うために その結果を←2

**Until Mari came home, Eri waited for her to tell the result.**

📖 ～まで／until+S+V～

NOTE: 時がかかわる場合は、主節と従属節の時制は同じになります。

ケン は **とすぐに** ～出る 会社を←1、

(その時) (それは) 始めた どしゃ降りの雨が降る←2

Ken **had hardly** left the company **when** it began to rain cats and dogs.

📖 ～するとすぐに／had hardly～when...

悠太 は **とすぐに** ～入る 学校に←1、

(その時) 彼は バッたり出会った 校長先生に 明るい性格の←2

Yuta **had no sooner** entered his school

**than** he ran into the principal of the bright character.

📖 ～するとすぐに／had no sooner～than...

**とすぐに** パートタイムの仕事が レストランでの 終わる←1、

帰りなさい まっすぐ 家に 子供達のために←2

**As soon as** the part-time job at the restaurant is over,

go straight home for your children.

📖 ～するとすぐに／as soon as+S+V～

**たびに** 私が ～会う ジョンに そのカフェで←1、

ジョンは ～尋ねる 私に マリの仕事態度について←2

**Every time** I meet John in the cafe, John asks me about Mari's job manner.

📖 ～するたびに／every time+S+V～

**時までには** ジョンが 到着する 頂上に 山の←1、 彼は 完全に 疲れ果てていた←2

**By the time** John arrived to the top of the mountain,

he was completely exhausted.

📖 ～する時までには・までに／by the time+S+V～

## 1-2 原因・理由を表す

から ケンは ～と思う それが正しい←1、

彼は いつも ～する それを躊躇することなしに←2

**Because** Ken thinks it right, he always does it without hesitating.

📖 ～だから／because+S+V～

ので 姪は です 非常に忙しい←1、彼女は 行くことができない 買い物に 叔母と←2

**Because** my niece is very busy, she **cannot** go to shopping with her aunt.

📖 ～ので...できない／because+S+V, S+cannot～

からといって 甥が いる まずしい(状況)←1、悠太は ～軽蔑しない 彼を←2

**Because** my nephew is poor, Yuta **does not** despise him.

📖 ～だからといって...しない／because+S+V, S+not～

ので 妻は 疲れている 徹夜の仕事で←1、彼女は ～とる方がよい 少し休憩を←2

**As** my wife is tired of all-night work, she had better take a little rest.

📖 ～なので・だから／as+S+V～

から 義理の姉妹が 言う そのように テスト結果について←1、

それは ～ちがいない 本当に←2

**Since** my sister-in-law says so about the test result, it must be true.

📖 ～だから・なので／since+S+V～

いまや～から 悠太は です 大学生←1、

彼は ～稼がなければならぬ 彼自身の学費を←2

**Now that** Yuta is a college student, he must earn his own school expenses.

📖 いまや～だから／now that+S+V～

### 1-3 条件を表す

いったん～すれば 私達は ～横切る 川を←1、 私達は ～伴うだろう 多くの危険を←2

**Once** we cross the river, we will attend a lot of risks.

📖 いったん～すれば／once+S+V～

もし～ならば 雨が 続く 今日一日←1、 不本意ながら 私は とどまるでしょう 家に←2

**If** rain continues all day today, reluctantly I will stay at home.

📖 もし～ならば／if+S+V～

もし～ならば ケンが 行く 旅行に 悠太と←1、 悠太は 喜んでついていきます 彼に←2

**If** Ken goes to a trip with Yuta, Yuta is willing to follow him.

📖 もし～ならば／if+S+V～

もし～ならば ケンが ～話しかける 悠太に←1、

悠太は ～始めるだろう 話すことを そのことについて←2

**Provided** Ken talks to Yuta, Yuta will start talking about it.

📖 もし～ならば／provided+S+V～(ifより強意)

もし～しないならば ケンが 話しかける 悠太に←1、

悠太は 決して話をしない そのことについて←2

**Unless** Ken talks to Yuta, Yuta never speaks about it.

📖 もし～しないならば／unless+S+V～(= if not)

もし～ならば リサが 不満を言わない 毎日の運動のことに←1、

母は 驚くだろう 聞いて そのことを←2

**If** Lisa **does not** complain of his daily exercise,

her mother will be surprised to hear that.

📖 もし～しないならば／if+S+V+not～(= unless)

## 1-4 譲歩を表す

けれども ジョンは です 若い←1、彼は です 有能な男 ゴルフ界において←2

**Though** John is young, he is an able man in the golf world.

📖 ～けれども／though+S+V～

NOTE: ～にもかかわらず／although+S+V は、比較的硬い表現になります。

たとえ～でも 私は ～好まない コメディを←1、

仕方なく 私は ～見るつもりです その映画を ←2

**Even though** I don't like comedies, unwillingly I will see the movie.

📖 ～けれども・たとえ～でも／even though+S+V～

NOTE: though を強調するときは、even though を使います。

たとえ～としても (それは) かかる (私に) 一年以上←1、

私は 絶対に ～終えるつもりです その仕事を←2

**Even if** it takes me over a year, I will absolutely finish the job.

📖 たとえ～でも／even if+S+V～

たとえ何が起ころうとも←1、

私達は ～成し遂げます その使命を 人達と共に チームの←2

**No matter what** happens,

we accomplish the mission with people of the team.

📖 たとえ何が～とも(譲歩を表す)／no matter what～

## 1-5 結果・程度を表す

その川は だった とてもきれいな(性質)←1 ので←2 いた 多くの魚が←3

The river was **so** clean **that** there were a great number of fishes.

📖 とても～、なので／so+形容詞・副詞+that～

悠太は です とても優秀な男←1 ので←2 彼は と呼ばれた 英雄←3

Yuta is **such a** brilliant man **that** he is called a hero.

📖 とても～、なので／such+a(an)+形容詞+名詞+that～

## 1-6 目的を表す

私達は 行った 公園に←2、ために 私達が ～して遊ぶ 隠れん坊を←1

We went to the park **so that we might** play hide-and-peek.

📖 ～するために／so that+may(can, will)～

～書き留めなさい 彼の電話番号を←2、ように あなたが ～忘れない それを←1

Write down his telephone number **so that you may not** forget it.

📖 ～しないように／so that+may not(cannot, will not)～

～持っていきなさい 傘を←2、といけないので (それは) 雨が降る 夕方に←1

Take an umbrella with you **in case it should** rain in the evening.

📖 ～するといけないので／in case...should～

## 1-7 様態を表す

とおりに あなたが 思う 一番良いと あなたの人生において←1、

あなたは してよい 自由に 何であれ←2

**As you think best** in your life, you may do freely whatever it is.

📖 ～するとおりに／as+S+V～

ように あなたが 指摘した←1、仕事は 私達のプロジェクトの です 完全に近い←2

**As you have pointed out**, the work of our project is near perfection.

📖 ～するよう／as+S+V～

間は あなたが ～とる 休息を 正午から←1、あなたは とどまってよい ここに←2

**As long as** you take a rest from noon, you may stay here.

📖 ～する間は／as long as+S+V～

限りでは 私が 知る これまでに←1、あなたは です 勤勉な(性格)←2

**As far as** I know so far, you are diligent.

📖 ～する限りでは／as far as+S+V～



## 2 分詞構文

前項の従属接続詞において、時、原因・理由、条件、そして付帯状況を表すものは、次のようになります。

従属節の主語が、主節の主語と同じ場合のみに、従属節の従属接続詞と主語を取り、動詞を現在分詞に変えることで、話を簡略化します。

その現在分詞で始まる従属節が副詞的に用いられ、時、原因・理由、条件、そして付帯状況の意味を表す分詞構文になりますが、「従属接続詞＋主語＋動詞」の働きを持っています。

### 2-1 基本的用法

～聞いているとき クラシック音楽を←1、私は 聞いた 私の名前が 呼ばれる(のを)←2

**Listening to the classical music, I heard my name called.**

📖 時／～するとき = When I was listening to the classical music,～

～終えてから 昼食を←1、エリは 出かけた 近くの公園に 散歩のために←2

**Finishing lunch, Eri went to the park nearby for a walk.**

📖 時／～してから = After Eri finished lunch,～

～もっていたので 多くのことを するための←1、

マリは ～することが出来なかった 宿題を←2

**Having a lot of things to do, Mari was unable to do her homework.**

📖 理由／～なので = Because (Since, As) Mari had a lot of things to do,～

～乗れば バスに 駅広場で←1、エリは 着くことができる 自宅に 3時まで←2

**Taking the bus at the station square, Eri can get her house by three o'clock.**

📖 条件／～すれば = If Eri takes the bus at the station square,～

ジョンは 振った 手を 歩道橋から ほほ笑みながら 明るく←

**John waved his hand from pedestrian overpass, smiling brightly.**

📖 付帯状況／～しながら = ～, as he was smiling brightly.

## 2-2 注意すべき分詞構文

～**終えてしまったので** 手伝いを 母の←1、私は ～出かけた 買い物に←2

**Having finished** help for my mother, I went shopping.

📖 現在完了形／having+過去分詞

**見ると** ある離れた位置から←1、その岩が のように見えた ライオンの顔←2

**(Being) Seen** from a distance, the rock looked like a lion's face.

📖 受動態／being を省略

**スキーをしている時に** 長野で←1、悠太は ～捻挫した 足首を 運悪く←2

**When skiing** in Nagano, Yuta twisted his ankle unfortunately.

📖 接続詞 when, while が分詞の前に置かれる

～**知らないので** 何をするかを←1、私は ～頼んだ ジョンに 助けを 少し前に←2

**Not knowing** what to do, I asked John for help a while ago.

📖 否定形／not～ing

～**決して従わなかったので** 私の忠告に←1、リサは 風邪をひいた ついに←2

**Never taking** my advice, Lisa caught a cold at last.

📖 強い否定形／never～ing

悠太は ～続けた 食べることを 好みの料理を 喋ることなしに 一言も←

**Yuta continued** eating a favorite dish, **not uttering** a word.

📖 付帯状況／not～ing

人たちはほとんどいません スキーすることが出来る **手を振りながら**←

**There are few people** being able to ski **with his hands waiving**.

📖 付帯状況／with+意味上の主語+現在・過去分詞

## NOTE 独立分詞構文の慣用表現

分詞構文では、従属節の主語が主節の主語と同じ場合が原則ですが、一致しないときには、主語が分詞の前に置かれ、独立分詞構文になります。

As it was fine, I went to the park. ⇒ It being fine, I went to the park.

その独立分詞構文の分詞の前に置かれる主語が、we, you などの一般の人々の場合は省略されて、次のような慣用表現になります。

一般的に言って、日本人は 働きます 一生懸命 夜遅くまで←←

**Generally speaking, Japanese people work hard until late night.**

率直に言って、私は 思います このゴルフコースは です 難しい(状況)←←

**Frankly speaking, I think this golf course is tricky.**

大ざっぱに言うと、90%は 地球の おおわれている 大洋で←←

**Roughly speaking, 90% of the earth is covered by oceans.**

厳密に言うと、写真撮影は 禁止されています ここでは←←

**Strictly speaking, photography is forbidden here.**

現実的に言って、ありません 不審な様子は 彼の行動において←←

**Practically speaking, there isn't a suspicious state in his action.**

子供たちとさえ、何人の子どもを しますか あなたは 持ちたい←←

**Speaking of children, how many children do you want to have?**

彼女のドレスから判断すると、マリは 行くに違いない パーティーに←←

**Judging from her dress, Mari must be going to the party.**

彼の年齢を考えると、ジョンは 見える より若く 他の人と比べて←←

**Considering his age, John looks younger than other people.**

### 3 仮定法

#### 3-1 直説法と仮定法の違い

- ◆ **直説法**は、起こりうる可能性を単に仮定して、話を作ります。  
主節と従属節の動詞の時制には、現在形や未来形が使われます。

もし～ならば 天気 今日←1、私は だろう 出かける←2  
**If it's fine today, I will go out.**

- ◆ **仮定法**は、現在や過去の事実ではない仮定・想像や実現しがたい願望を表します。

もし～ならば 私が である 18歳←1、私は ~運転できるだろう 車を←2  
**If I were eighteen, I could drive a car.**

#### 3-2 仮定法過去と仮定法過去完了

- ◆ **仮定法過去**は、現在の事実と反する仮定・想像・願望を表し、「もし～ならば、...だろう」と現在形に訳します。

if 節が過去形で、主節は would, could, should, might+原形動詞になります。

但し、if 節のbe動詞の人称はすべてwereになります。

- ◆ **仮定法過去完了**は、過去の事実と反対の仮定・想像・願望を表し、「もし～だったら、...だったろう」と過去形に訳します。

if 節が過去完了形で、主節は would, could, should, might+現在完了形になります。

但し、仮定の結果が現在に影響している場合で「もし～だったら、...だろうに」は、if 節は過去完了形のままですが、主節は would, could, should, might+原形動詞になります。

## a 仮定法過去

もし～ならば マリが ～持つ 翼を←1、

彼女は 飛んで行くことが出来るだろう 友達のところに←2

**If Mari had wings, she could fly to her friends.**

📖 If+S+過去形, S+助動詞過去+原形動詞

もし～ならば ケンが である 社長 会社の←1、彼は 同意するだろう その計画に←2

**If Ken were the president of the company, he would agree to the plan.**

📖 If+S+were, S+助動詞過去+原形動詞

もし～ならば 悠太が ～話すことが出来る スペイン語を←1、

彼は 住むだろう 奥さんと スペインに 定年後←2

**If Yuta could speak Spanish,**

he would live with his wife in Spain after a retirement age.

📖 If 節に助動詞があれば、その助動詞が過去形となる

## b 仮定法過去完了

もし～ならば ジョンが ～持っていた 十分なお金を←1、

彼は ～終わることができただろう 大学を←2

**If John had had enough money, he could have finished a college.**

📖 If+S+過去完了, S+助動詞過去+現在完了

もし～ならば 私が ～見つけた 5万円を 通りで←1、何を だろうか 私は ～した←2

**If I had found 50,000 yen on the street, what would I have done?**

📖 If+S+過去完了, S+助動詞過去+現在完了

もし～ならば ジョンが ～従った 私の忠告に←1、

彼は 迷ってはいないだろう このように 今←2

**If John had followed my advice, he should not be wondering like this now.**

📖 仮定の結果が現在に影響している場合／仮定法過去完了, 仮定法過去

### 3-3 慣用的な假定表現

ならなあ←2、私が である 天才 金儲けにおいて←1

**I wish I were a genius in money-making.**

📖 ～ならなあ(現在の事実と反対の願望)／I wish+假定法過去

ならよかった←2、私が ～勉強していた 英語を より一生懸命に 毎日←1

**I wish I had studied English harder every day.**

📖 ～ならよかった(過去の事実と反対の願望)／I wish+假定法過去完了

どんなに願っているか←2、私が ～会うことができる 悠太に 2～3 日中に←1

**How I wish I could see Yuta in a few days.**

📖 どんなに～願っているか／How I wish+假定法過去

さえすればなあ←2、悠太が ところの 話をする 愉快地 いる ここに←1

**If only Yuta who talks happily were here.**

📖 ～さえすればなあ／If only+假定法過去

あなたは 話をします←2、あたかも～かのように あなたが いる 酔って 酒で←1

**You talk as if you were drunk on liquor.**

📖 あたかも～しているかのように...／～as if+假定法過去

あなたは 見えます←2、

あたかも～かのように あなたが ～した 間違いを 選択に 大学の←1

**You look as if you had made a mistake in the choice of the university.**

📖 あたかも～していたかのように...／～as if+假定法過去完了

(それは) です 時間←2、あなたが 行くであろう パーティーに 奥さんと←1

**It is time you were going to the party with your wife.**

📖 ～する時間だ／It is time+假定法過去

私は です 忙しい←1、さもなければ～のだが 私は ～行く ゴルフをしに←2

**I'm busy, otherwise I would go to play golf.**

📖 ～、さもなければ...するのだが／～, otherwise+假定法過去

もし～なければ 常識が 日常生活において←1、どのように だろうか 世界が ～なる←2  
**If it were not for common sense in everyday life, what would the world be?**  
📖 もし～なければ、.../If it were not for～, 仮定法過去

もし～なかったならば あなたの助けが 事前に←1、  
私は 失敗していただろう 契約交渉に←2  
**If it had not been for your help beforehand,**  
**I would have failed in contract negotiation.**  
📖 もし～なかったらば、.../If it had not been for～, 仮定法過去完了

あれば もう少しの注意が←1、 私は ～免れただろう その事故を←2  
**With a little more attention, I would have escaped the accident.**  
📖 ～あれば、...しただろう/with ～, 仮定法過去完了

なければ 平等感が←1、  
人間関係が 社会における いかないだろう うまく どうしても←2  
**Without a feeling of equality,**  
**human relations in the society couldn't go well by any means.**  
📖 ～なければ、...することができないただろう/without～, 仮定法過去

なければ そのカーナビが←1、 私は ～見つけることができなかつただろう その道を←2  
**But for the car navigation, I couldn't have found the way.**  
📖 ～なければ、...することができなかつただろう/but for～, 仮定法過去完了

## NOTE 数詞

### ◆ 基数詞と序数詞

1 one/1st first    2 two/2nd second    3 three/3rd third  
4 four/4th fourth    5 five/5th fifth  
11 eleven/11th eleventh    12 twelve/12th twelfth  
13 thirteen/13th thirteenth    15 fifteen/15th fifteenth  
20 twenty/twentieth(yをieに変えてthをつける)  
21 twenty-one/twenty-first(21以上は1桁の数のみ変化)

### ◆ 数の読み/文末から3桁ごとに数を区切ります

1,234,567,890,123

One trillion, two hundred thirty-four billion, five hundred sixty-seven million, eight hundred ninety thousand, one hundred twenty-three

### ◆ 分数の読み/分子を基数、分母を序数

1/2=a half    2/3=two-thirds(分子が複数の場合、分母の序数にsをつける)  
1/4=a quarter    3/4=three-quarters    2 3/5=two and three-fifths

### ◆ 小数の読み/小数点をpoint、あとは数字ごとに区切って読む

99.509/ninety-nine point five zero(ou) nine

### ◆ 電話番号/番号ごとに区切って読む

876-5402/eight seven six-five four zero(ou) two

### ◆ 年号・日付・その他

21世紀: the twenty-first century

年の表記: 2008/two thousand eight. 1950/nineteen fifty

月日の表記: April 10/April tenth(アメリカ式)

10th April/the tenth of April(イギリス式)

日の表記: on Friday, the 10th

時刻の表記: 9:25 a.m./nine twenty-five a.m.

金額の表記: \$ 5. 40/five dollars forty cents

### ◆ 単位換算

1 inch=2.54 cm, 1 foot=30.48 cm, 1yard=91.44 cm, 1mile=1.609 km,  
1 ounce=28.35 g, 1 pound=453.59 g, 1 gallon=3.785 ℓ